

- 問1 葉のでんぷんを調べる実験の最初に、お湯で葉を煮るのは何のためですか。
- 問2 植物のからだで蒸散が起こると、からだの中にある水はどのようになりますか。
- 問3 ヨウ素液をでんぷんにつけたとき、液の色はどのように変化しますか。
- 問4 植物がたえず行っている、酸素を取り入れて二酸化炭素を出すはたらきと、日光が当たるときに二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきをまとめて何といいますか。
- 問5 根から取り入れられてくきまで運ばれた水は、このあと植物のどの部分へと流れていきますか。
- 問6 植物の葉などにでんぷんがあるかどうかを調べるために使われる、特別な液の名前は何ですか。
- 問7 葉にでんぷんができているかを調べる実験で、ヨウ素液による色の変化を見やすくするために、葉の緑色をぬくときに使う液体は何ですか。
- 問8 植物が根から取り入れている、生きるために必要なほとんどのものは何ですか。
- 問9 植物のからだの中にある水が、水蒸気になって外に出ていく現象を何といいますか。
- 問10 葉のうら側のあなから、植物のからだの外に出ていくものは何ですか。
- 問11 植物に日光が十分に当たっているとき、植物が行う気体の出し入れは全体としてどのようになりますか。
- 問12 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。
- 問13 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物が成長するために必要な養分の名前は何ですか。
- 問14 葉をろ紙にはさんでたたき、葉の形や液をろ紙にうつしとってからヨウ素液につけて、でんぷんがあるかを調べる方法を何といいますか。
- 問15 植物の葉の表面にあり、体の中の水分を水蒸気として外に出す役割をもつ小さな穴を何といいますか。
- 問16 たたきぞめを行うとき、葉の液をろ紙にうつしとった後、でんぷんがあるかを調べるために使う液は何ですか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 葉をやわらかくするため	葉のでんぷんを調べる際、最初にお湯で煮るのは、葉をやわらかくするためです。
問2	答え 水蒸気になってからだの外に出ていく。	蒸散は、植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象のことです。
問3	答え 青むらさき色に変わる	ヨウ素液は、でんぷんに反応すると青むらさき色に変化する性質があります。
問4	答え 植物の気体交換 <small>こうかん</small>	植物は、酸素と二酸化炭素を出し入れする気体交換を行っています。これには、たえず行う呼吸と、日光が当たるときに盛んになるはたらきがあります。
問5	答え 葉	根から取り入れられた水は、根からくきを通ったあと、葉へと流れていきます。
問6	答え ヨウ素液	植物の葉にでんぷんがあるかどうかを調べるには、ヨウ素液という液を使います。
問7	答え エタノール	葉の緑色をぬいてヨウ素液の色の変化を見やすくするために、あたためたエタノールが使われます。
問8	答え 水	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問9	答え 蒸散	植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象を蒸散といいます。
問10	答え 水蒸気	葉のうら側のあなは、植物のからだの中にある水蒸気を外へ逃がすためのあなです。
問11	答え 二酸化炭素を吸収して、酸素を出すはたらきの方が盛んになる。	植物は呼吸で酸素を取り入れ二酸化炭素を出していますが、日光が当たると、二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきの方が盛んになります。
問12	答え 根	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問13	答え でんぷん	植物の葉に日光が当たると、植物の成長に必要な「でんぷん」という養分がつくられます。
問14	答え たたきぞめ	葉をたたいて液をろ紙にうつし、ヨウ素液ででんぷんを調べる方法を「たたきぞめ」といいます。
問15	答え 気こう	植物の葉の表面にある小さな穴を「気こう」と呼び、ここから水が水蒸気となって出ていきます。
問16	答え ヨウ素液	たたきぞめでは、ろ紙にうつしとった葉の液にヨウ素液をつけて、でんぷんがあるかを確かめます。

問1 植物の根、くき、葉にあり、根からとり入れられた水が全身に運ばれるための管のことを何といいますか。

問2 植物に日光が十分に当たっているとき、植物が行う気体の出し入れは全体としてどのようになりますか。

問3 植物の葉の表面にあり、体の中の水分を水蒸気として外に出す役割をもつ小さな穴を何といいますか。

問4 ヨウ素液をでんぷんにつけたとき、液の色はどのように変化しますか。

問5 植物の葉などにでんぷんがあるかどうかを調べるために使われる、特別な液の名前は何かですか。

問6 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

問7 植物の体の中にある「水の通り道」は、植物のどの部分にありますか。

問8 植物のからだの中にある水が、水蒸気になって外に出ていく現象を何といいますか。

問9 葉にでんぷんができていないかを調べる実験で、ヨウ素液による色の変化を見やすくするために、葉の緑色をぬくときに使う液体は何ですか。

問10 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物が成長するために必要な養分の名前は何かですか。

問11 植物のからだで蒸散が起こると、からだの中にある水はどのようにになりますか。

問12 葉をろ紙にはさんでたたき、葉の形や液をろ紙にうつしとってからヨウ素液につけて、でんぷんがあるかを調べる方法を何といいますか。

問13 葉のでんぷんを調べる実験の最初に、お湯で葉を煮るの^には何のためですか。

問14 植物がたえず行っている、酸素を取り入れて二酸化炭素を出すはたらきと、日光が当たるときに二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきをまとめて何といいますか。

問15 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

問16 根から取り入れられてくきまで運ばれた水は、このあと植物のどの部分へと流れていきますか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 水の通り道	植物の根から吸い上げられた水が全身に運ばれるための管を「水の通り道」といいます。
問2	答え 二酸化炭素を吸収して、酸素を出すはたらきの方が盛んになる。	植物は呼吸で酸素を取り入れ二酸化炭素を出していますが、日光が当たると、二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきの方が盛んになります。
問3	答え 気こう	植物の葉の表面にある小さな穴を「気こう」と呼び、ここから水が水蒸気となって出ていきます。
問4	答え 青むらさき色に変わる	ヨウ素液は、でんぷんに反応すると青むらさき色に変化する性質があります。
問5	答え ヨウ素液	植物の葉にでんぷんがあるかどうかを調べるには、ヨウ素液という液を使います。
問6	答え 根	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問7	答え 根、くき、葉	水の通り道は、根からとり入れた水を全身に運ぶため、根、くき、葉のすべてにつながっています。
問8	答え 蒸散	植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象を蒸散といいます。
問9	答え エタノール	葉の緑色をぬいてヨウ素液の色の変化を見やすくするために、あたためたエタノールが使われます。
問10	答え でんぷん	植物の葉に日光が当たると、植物の成長に必要な「でんぷん」という養分がつくられます。
問11	答え 水蒸気になってからだの外に出ていく。	蒸散は、植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象のことです。
問12	答え たたきぞめ	葉をたたいて液をろ紙にうつし、ヨウ素液ででんぷんを調べる方法を「たたきぞめ」といいます。
問13	答え 葉をやわらかくするため	葉のでんぷんを調べる際、最初にお湯で煮るのは、葉をやわらかくするためです。
問14	答え 植物の気体交換 <small>こうかん</small>	植物は、酸素と二酸化炭素を出し入れする気体交換 <small>こうかん</small> を行っています。これには、たえず行う呼吸と、日光が当たるときに盛んになるはたらきがあります。
問15	答え でんぷん	植物の葉に日光が当たると、でんぷんという栄養分がつくられます。
問16	答え 葉	根から取り入れられた水は、根からくきを通ったあと、葉へと流れていきます。

問1 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物が成長するために必要な養分の名前は何ですか。

問2 根から取り入れられてくきまで運ばれた水は、このあと植物のどの部分へと流れていきますか。

問3 葉をろ紙にはさんでたたき、葉の形や液をろ紙にうつしとってからヨウ素液につけて、でんぷんがあるかを調べる方法を何とといいますか。

問4 植物の葉の表面にあり、体中の水分を水蒸気として外に出す役割をもつ小さな穴を何とといいますか。

問5 植物の体の中にある「水の通り道」は、植物のどの部分にありますか。

問6 植物のからだで蒸散が起これると、からだの中にある水はどのようになりますか。

問7 植物の葉につくられる「でんぷん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

問8 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

問9 葉のうら側にたくさんあり、水蒸気が出ていくための小さなあなのことを何とといいますか。

問10 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

問11 葉のでんぷんを調べる実験の最初に、お湯で葉を煮るのは何のためですか。

問12 植物のからだの中にある水が、水蒸気になって外に出ていく現象を何とといいますか。

問13 ヨウ素液をでんぷんにつけたとき、液の色はどのように変化しますか。

問14 葉のでんぷんを調べる実験で、葉をあたためたエタノールに入れるのはなぜですか。

問15 植物の根、くき、葉にあり、根からとり入れられた水が全身に運ばれるための管のことを何とといいますか。

問16 たたきぞめを行うとき、葉の液をろ紙にうつしとった後、でんぷんがあるかを調べるために使う液は何ですか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え でんぷん	植物の葉に日光が当たると、植物の成長に必要な「でんぷん」という養分がつくられます。
問2	答え 葉	根から取り入れられた水は、根からくきを通ったあと、葉へと流れていきます。
問3	答え たたきぞめ	葉をたたいて液をろ紙にうつし、ヨウ素液ででんぷんを調べる方法を「たたきぞめ」といいます。
問4	答え 気こう	植物の葉の表面にある小さな穴を「気こう」と呼び、ここから水が水蒸気となって出ていきます。
問5	答え 根、くき、葉	水の通り道は、根からとり入れた水を全身に運ぶため、根、くき、葉のすべてにつながっています。
問6	答え 水蒸気になってからだの外に出ていく。	蒸散は、植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象のことです。
問7	答え 植物が成長するための養分になる。	でんぷんは、植物が成長するために使われる大切な養分です。
問8	答え 根	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問9	答え 葉のうら側のあな	葉のうら側にたくさんある、水蒸気が出ていくための小さなあなを「葉のうら側のあな」といいます。
問10	答え でんぷん	植物の葉に日光が当たると、でんぷんという栄養分がつくられます。
問11	答え 葉をやわらかくするため	葉のでんぷんを調べる際、最初にお湯で煮るのは、葉をやわらかくするためです。
問12	答え 蒸散	植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象を蒸散といいます。
問13	答え 青むらさき色に変わる	ヨウ素液は、でんぷんに反応すると青むらさき色に変化する性質があります。
問14	答え 葉の緑色をぬいて、ヨウ素液による色の変化を見やすくするため。	エタノールには葉の緑色をぬく働きがあり、これによってヨウ素液をかけたときの色の変化がはっきりとわかるようになります。
問15	答え 水の通り道	植物の根から吸い上げられた水が全身に運ばれるための管を「水の通り道」といいます。
問16	答え ヨウ素液	たたきぞめでは、ろ紙にうつしとった葉の液にヨウ素液をつけて、でんぷんがあるかを確認します。

問1 葉にでんぷんができていないかを調べる実験で、ヨウ素液による色の変化を見やすくするために、葉の緑色をぬくときに使う液体は何ですか。

問2 たたきぞめを行うとき、葉の液をろ紙にうつしとった後、でんぷんがあるかを調べるために使う液は何ですか。

問3 植物のからだで蒸散が起ると、からだの中にある水はどのようになりますか。

問4 葉のうら側にたくさんあり、水蒸気が出ていくための小さなあなのことを何といいますか。

問5 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

問6 葉にでんぷんがあるかどうかを調べる実験で、葉をやわらかくするために、最初にお湯を使って行う作業は何ですか。

問7 植物に日光が十分に当たっているとき、植物が行う気体の出し入れは全体としてどのようになりますか。

問8 植物が根から取り入れている、生きるために必要なほとんどのものは何ですか。

問9 植物がたえず行っている、酸素を取り入れて二酸化炭素を出すはたらきと、日光が当たるときに二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきをまとめて何といいますか。

問10 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

問11 植物の葉につくられる「でんぷん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

問12 葉のでんぷんを調べる実験で、葉をあたためたエタノールに入れるのはなぜですか。

問13 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物が成長するために必要な養分の名前は何か。

問14 植物の体の中にある「水の通り道」は、植物のどの部分にありますか。

問15 植物の葉などにでんぷんがあるかどうかを調べるために使われる、特別な液の名前は何か。

問16 葉をろ紙にはさんでたたき、葉の形や液をろ紙にうつしとってからヨウ素液につけて、でんぷんがあるかを調べる方法を何といいますか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え エタノール	葉の緑色をぬいてヨウ素液の色の変化を見やすくするために、あたためたエタノールが使われます。
問2	答え ヨウ素液	たたきぞめでは、ろ紙にうつしとった葉の液にヨウ素液をつけて、でんぷんがあるかを確かめます。
問3	答え 水蒸気になってからだの外に出ていく。	蒸散は、植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象のことです。
問4	答え 葉のうら側のあな	葉のうら側にたくさんある、水蒸気が出ていくための小さなあなを「葉のうら側のあな」といいます。
問5	答え 根	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問6	答え 葉を煮る	葉のでんぷんを調べる実験では、最初にお湯で葉がやわらかくなるまで煮る作業を行います。
問7	答え 二酸化炭素を吸収して、酸素を出すはたらきの方が盛んになる。	植物は呼吸で酸素を取り入れ二酸化炭素を出していますが、日光が当たると、二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきの方が盛んになります。
問8	答え 水	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問9	答え 植物の気体交換	植物は、酸素と二酸化炭素を出し入れする気体交換 <small>こうかん</small> を行っています。これには、たえず行う呼吸と、日光が当たるときに盛んになるはたらきがあります。
問10	答え でんぷん	植物の葉に日光が当たると、でんぷんという栄養分がつくられます。
問11	答え 植物が成長するための養分になる。	でんぷんは、植物が成長するために使われる大切な養分です。
問12	答え 葉の緑色をぬいて、ヨウ素液による色の変化を見やすくするため。	エタノールには葉の緑色をぬく働きがあり、これによってヨウ素液をかけたときの色の変化がはっきりとわかるようになります。
問13	答え でんぷん	植物の葉に日光が当たると、植物の成長に必要な「でんぷん」という養分がつくられます。
問14	答え 根、くき、葉	水の通り道は、根からとり入れた水を全身に運ぶため、根、くき、葉のすべてにつながっています。
問15	答え ヨウ素液	植物の葉にでんぷんがあるかどうかを調べるには、ヨウ素液という液を使います。
問16	答え たたきぞめ	葉をたたいて液をろ紙にうつし、ヨウ素液ででんぷんを調べる方法を「たたきぞめ」といいます。

問1 植物の体の中にある「水の通り道」は、植物のどの部分にありますか。

問2 植物のからだで蒸散が起こると、からだの中にある水はどのようになりますか。

問3 葉のうら側のあなから、植物のからだの外に出ていくものは何ですか。

問4 植物が根から取り入れている、生きるために必要なほとんどのものは何ですか。

問5 根から取り入れられてくきまで運ばれた水は、このあと植物のどの部分へと流れていきますか。

問6 葉のでんぷんを調べる実験の最初に、お湯で葉を煮るの^には何のためですか。

問7 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

問8 葉にでんぷんがあるかどうかを調べる実験で、葉をやわらかくするために、最初にお湯を使って行う作業は何ですか。

問9 植物の葉の表面にあり、体の中の水分を水蒸気として外に出す役割をもつ小さな穴を何といいますか。

問10 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

問11 葉のうら側にたくさんあり、水蒸気が出ていくための小さなあなのことを何といいますか。

問12 葉にでんぷんができていないかを調べる実験で、ヨウ素液による色の変化を見やすくするために、葉の緑色をぬくときに使う液体は何ですか。

問13 植物の葉につくられる「でんぷん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

問14 植物がたえず行っている、酸素を取り入れて二酸化炭素を出すはたらきと、日光が当たるときに二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきをまとめて何といいますか。

問15 植物のからだの中にある水が、水蒸気になって外に出ていく現象を何といいますか。

問16 植物に日光が十分に当たっているとき、植物が行う気体の出し入れは全体としてどのようになりますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 根、くき、葉	水の通り道は、根からとり入れた水を全身に運ぶため、根、くき、葉のすべてにつながっています。
問2	答え 水蒸気になってからだの外に出ていく。	蒸散は、植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象のことです。
問3	答え 水蒸気	葉のうら側のあなは、植物のからだの中にある水蒸気を外へ逃がすためのあなです。
問4	答え 水	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問5	答え 葉	根から取り入れられた水は、根からくきを通ったあと、葉へと流れていきます。
問6	答え 葉をやわらかくするため	葉のでんぷんを調べる際、最初にお湯で煮るのは、葉をやわらかくするためです。
問7	答え でんぷん	植物の葉に日光が当たると、でんぷんという栄養分がつくれます。
問8	答え 葉を煮る	葉のでんぷんを調べる実験では、最初にお湯で葉がやわらかくなるまで煮る作業を行います。
問9	答え 気こう	植物の葉の表面にある小さな穴を「気こう」と呼び、ここから水が水蒸気となって出ていきます。
問10	答え 根	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問11	答え 葉のうら側のあな	葉のうら側にたくさんある、水蒸気が出ていくための小さなあなを「葉のうら側のあな」といいます。
問12	答え エタノール	葉の緑色をぬいてヨウ素液の色の変化を見やすくするために、あたためたエタノールが使われます。
問13	答え 植物が成長するための養分になる。	でんぷんは、植物が成長するために使われる大切な養分です。
問14	答え 植物の気体交換	植物は、酸素と二酸化炭素を出し入れする気体交換 <small>こうかん</small> を行っています。これには、たえず行う呼吸と、日光が当たるときに盛んになるはたらきがあります。
問15	答え 蒸散	植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象を蒸散といいます。
問16	答え 二酸化炭素を吸収して、酸素を出すはたらきの方が盛んになる。	植物は呼吸で酸素を取り入れ二酸化炭素を出していますが、日光が当たると、二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきの方が盛んになります。